

2019年3月期
決算説明資料



物流から価値を。

三井倉庫グループ

2019年5月15日



- 説明資料内容
 - ▶ 2019年3月期 決算内容
 - 2020年3月期 決算見通し
 - 中期経営計画進捗状況



(1) 決算概要

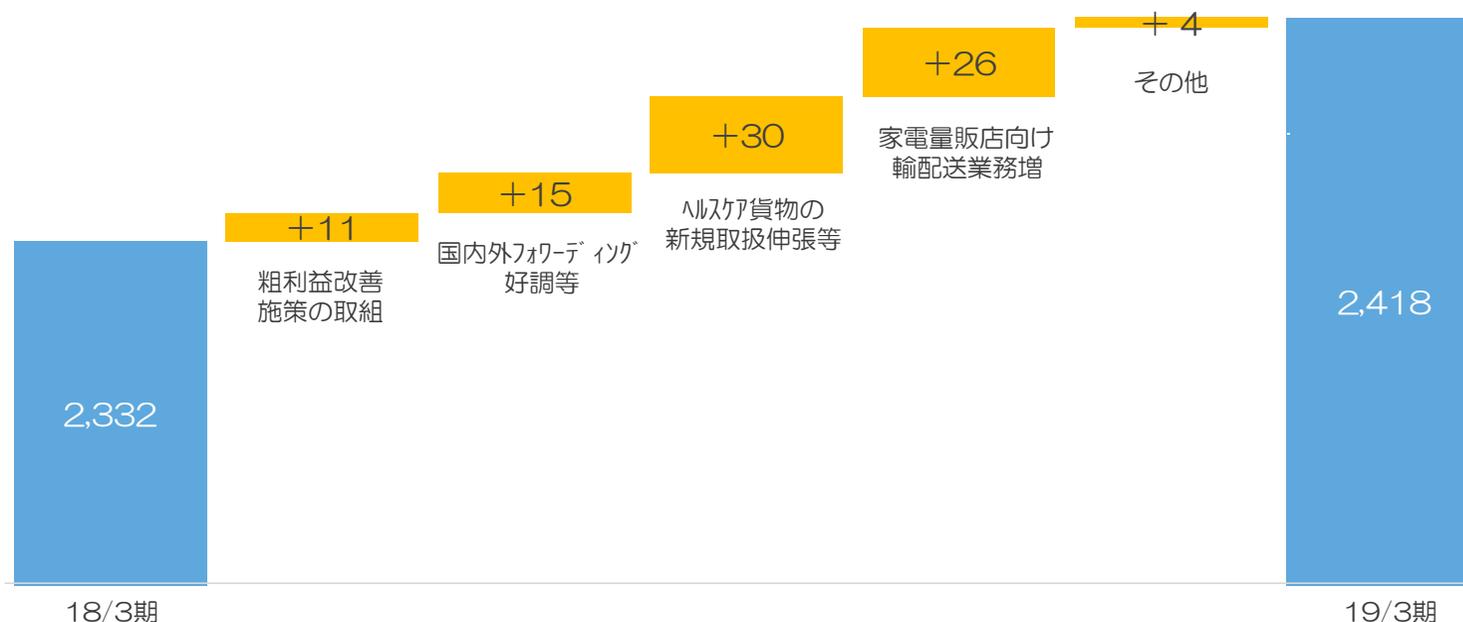
(単位：百万円)

	連結合計	18/3期	19/3期	増減額	増減率
P L	営業収益	233,243	241,852	+8,609	+3.7%
	営業利益	6,996	11,986	+4,990	+71.3%
	経常利益	6,521	11,087	+4,566	+70.0%
	親会社株主に帰属 する当期純利益	4,406	5,190	+783	+17.8%
C F	営業CF	12,207	18,498	+6,290	+51.5%
	投資CF	△5,806	△4,043	+1,762	—
	財務CF	△12,180	△16,618	△4,437	—
	連結合計	18/3期末	19/3期末	増減額	増減率
B S	自己資本	44,017	47,404	+3,387	+7.7%
	総資産	262,735	252,078	△10,656	△4.1%
	自己資本比率	16.8%	18.8%	+2.1	—



(2) 営業収益（前年同期比）

（単位：億円）



〔営業収益 事業セグメント別〕

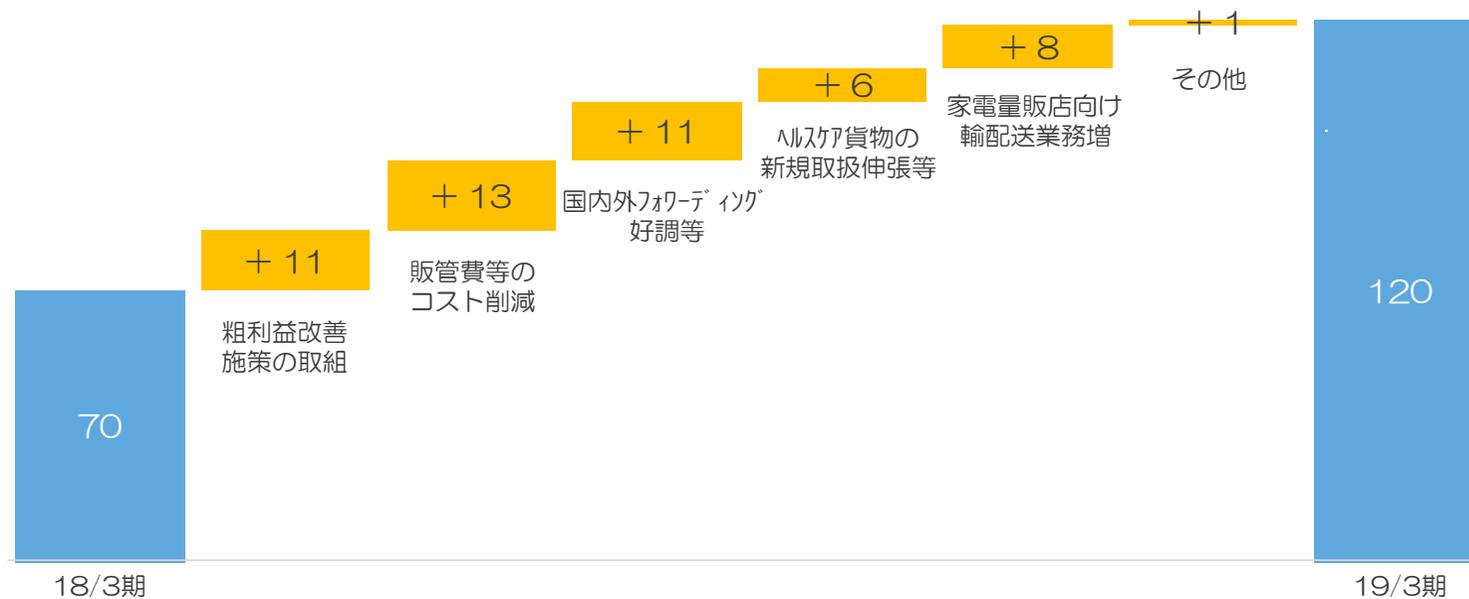
（単位：百万円）

事業セグメント	18/3期	19/3期	増減額	増減率
物流事業	224,842	233,404	+8,561	+3.8%
不動産事業	9,155	9,170	+14	+0.2%
全社・消去	△755	△721	+33	—
営業収益合計	233,243	241,852	+8,609	+3.7%



(3) 営業利益（前年同期比）

(単位：億円)



〔営業利益 事業セグメント別〕

(単位：百万円)

事業セグメント	18/3期	19/3期	増減額	増減率
物流事業	5,855	9,844	+3,988	+68.1%
不動産事業	5,045	5,114	+69	+1.4%
全社・消去	△3,904	△2,972	+932	—
営業利益合計	6,996	11,986	+4,990	+71.3%



(4) 営業外損益・特別損益（前年同期比）

(単位：百万円)

連結合計	18/3期	19/3期	増減額	主な増減内容
営業利益	6,996	11,986	+4,990	
営業外損益	△475	△899	△423	為替差損益の減少 : △515百万円 (前期) 差益 490 (当期) 差損 △25 金融収支の改善 : +142百万円 その他 : △50百万円
(内金融収支	△858	△716	+142	有利子負債圧縮を進め支払利息減少
経常利益	6,521	11,087	+4,566	営業利益増 : +4,989百万円 営業外損益減 : △423百万円
特別利益	1,844	365	△1,479	(前期) 固定資産売却益 : 651百万円 有価証券売却益 : 722百万円 受取補償金 : 470百万円 (当期) 災害関連受取保険金 : 291百万円等
特別損失	223	1,604	+1,381	(前期) 固定資産除却損 : 223百万円 (当期) 災害関連損失 : 292百万円 のれん減損損失 : 1,227百万円等
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,406	5,190	+783	主に経常利益増



(5) キャッシュフロー及びバランスシート状況

(単位：百万円)

連結合計	18/3期	19/3期	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	12,207	18,498	+6,290	+51.5%
（減価償却費・のれん償却額）	9,932	9,482	△449	△4.5%
投資キャッシュフロー	△5,806	△4,043	+1,762	—
（設備投資・株式取得）	△8,499	△4,206	+4,292	—
財務キャッシュフロー	△12,180	△16,618	△4,437	—

連結合計	18/3期末	19/3期末	増減額	増減率
現金及び預金	25,798	23,643	△2,154	△8.4%
有利子負債残高	157,604	142,471	△15,133	△9.6%
ネットデット	131,806	118,827	△12,978	△9.8%
自己資本	44,017	47,404	+3,387	+7.7%
総資産	262,735	252,078	△10,656	△4.1%
自己資本比率	16.8%	18.8%	+2.1	—
ネットD/Eレシオ	3.0	2.5	△0.5	—
ROE	10.8%	11.4%	+0.6	—



- 説明資料内容
 - 2019年3月期 決算内容
 - ▶ 2020年3月期 決算見通し
 - 中期経営計画進捗状況



(1) 2020年3月期決算見通し概要

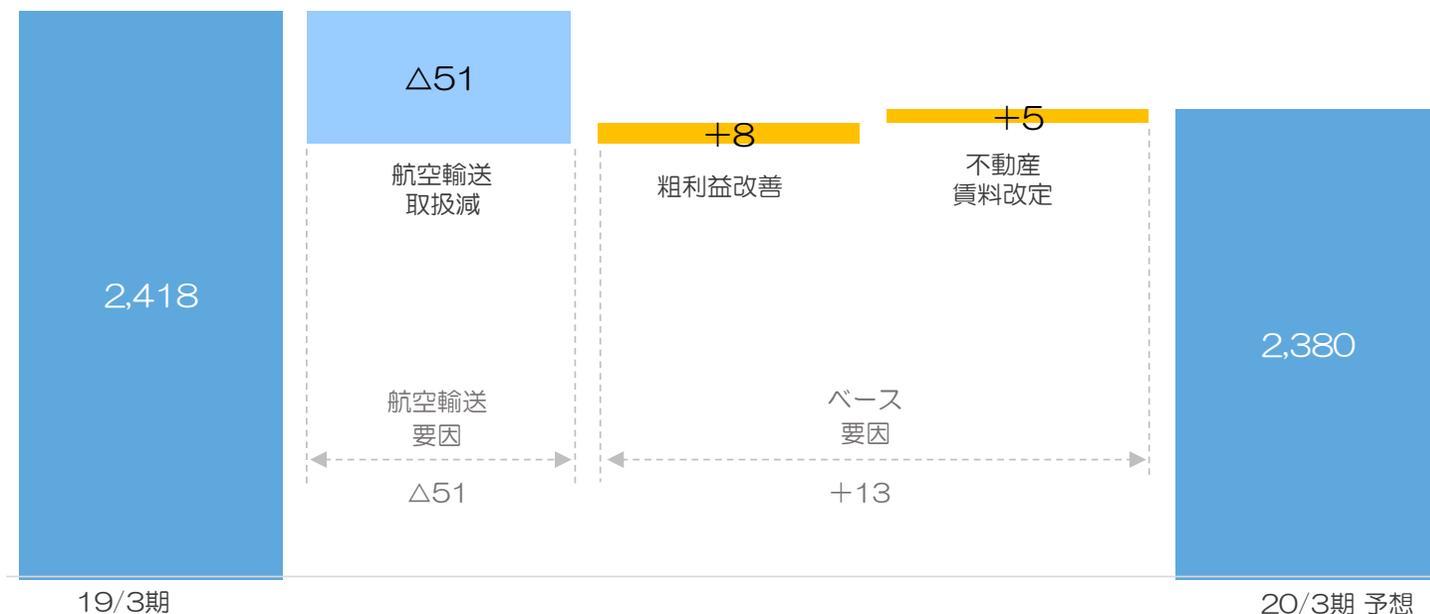
(単位：百万円)

	連結合計	19/3期通期	20/3期通期	前年同期比	増減率
P L	営業収益	241,852	238,000	△3,852	△1.6%
	営業利益	11,986	10,000	△1,986	△16.6%
	経常利益	11,087	8,900	△2,187	△19.7%
	親会社株主に帰属 する当期純利益	5,190	5,700	+509	+9.8%
C F	営業CF	18,498	15,500	△2,998	△16.2%
	投資CF	△4,043	△6,500	△2,456	—
	財務CF	△16,618	△10,000	+6,618	—
	連結合計	19/3期末	20/3期末	前期末比	増減率
B S	自己資本	47,404	52,500	+5,095	+10.7%
	総資産	252,078	247,000	△5,078	△2.0%
	自己資本比率	18.8%	21.3%	+2.4	—



(2) 2020年3月期 営業収益見通し

(単位：億円)



〔営業収益 事業セグメント別〕

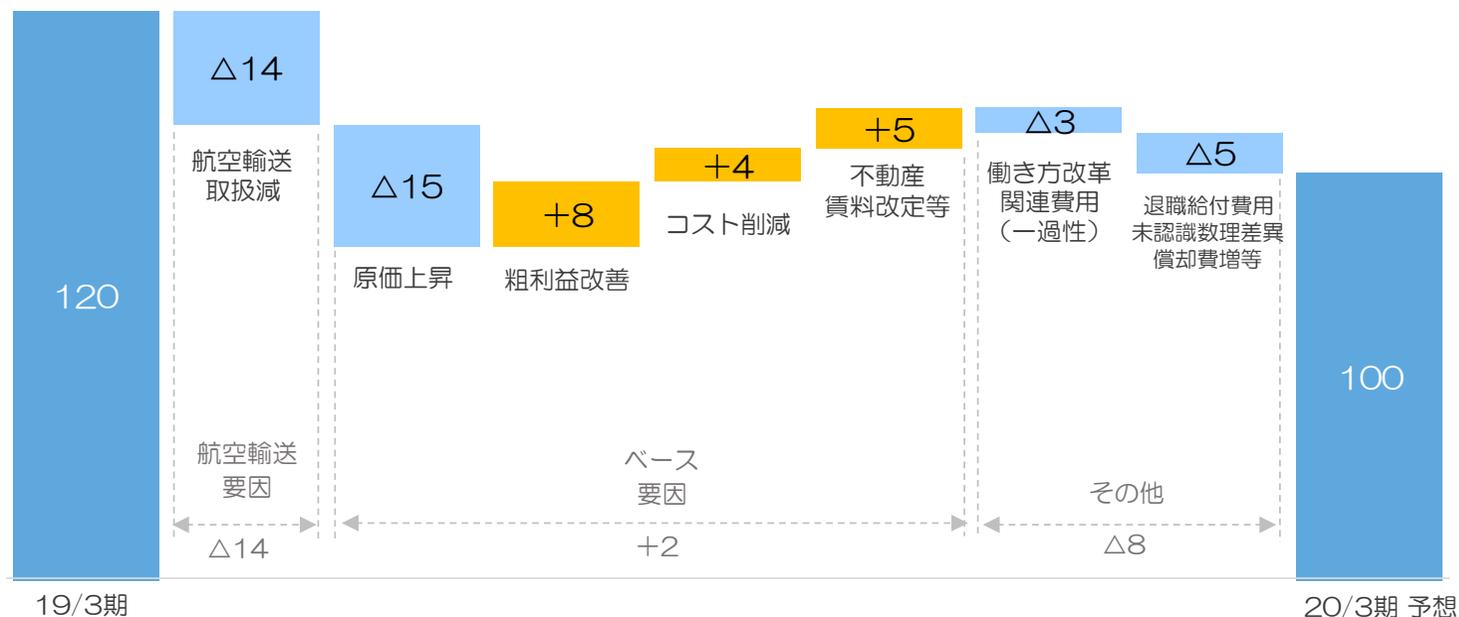
(単位：百万円)

事業セグメント	19/3期通期	20/3期通期	前年同期比	増減率
物流事業	233,404	229,000	Δ4,404	Δ1.9%
不動産事業	9,170	9,700	+529	+5.8%
全社・消去	Δ721	Δ700	+21	—
営業収益合計	241,852	238,000	Δ3,852	Δ1.6%



(2) 2020年3月期 営業利益見通し

(単位：億円)



〔営業利益 事業セグメント別〕

(単位：百万円)

事業セグメント	19/3期通期	20/3期通期	前年同期比	増減率
物流事業	9,844	8,100	△1,744	△17.7%
不動産事業	5,114	5,700	+585	+11.4%
全社・消去	△2,972	△3,800	△827	—
営業利益合計	11,986	10,000	△1,986	△16.6%



(3) 2020年3月期 営業外損益・特別損益見通し

11

(単位：百万円)

連結合計	19/3期通期	20/3期通期	増減額	増減率
営業利益	11,986	10,000	△1,986	△16.6%
営業外損益	△899	△1,100	△200	—
（内金融収支	△716	△700	+16	—
経常利益	11,087	8,900	△2,187	△19.7%
特別利益	365	600	+234	+64.2%
特別損失	1,604	120	△1,484	△92.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,190	5,700	+509	+9.8%



(4) キャッシュフロー及びバランスシート見通し

12

(単位：百万円)

連結合計	19/3期通期	20/3期通期	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	18,498	15,500	△2,998	△16.2%
減価償却費のれん償却額	9,482	9,600	+117	+1.2%
投資キャッシュフロー	△4,043	△6,500	△2,456	—
財務キャッシュフロー	△16,618	△10,000	+6,618	—

連結合計	19/3期末	20/3期末	前期末比	増減率
現金及び預金	23,643	22,600	△1,043	△4.4%
有利子負債残高	142,471	133,000	△9,471	△6.6%
ネットデット	118,827	110,400	△8,427	△7.1%
自己資本	47,404	52,500	+5,095	+10.7%
総資産	252,078	247,000	△5,078	△2.0%
自己資本比率	18.8%	21.3%	+2.4	—
ネットD/Eレシオ	2.5	2.1	△0.4	—
ROE	11.4%	11.4%	—	—



- 説明資料内容
 - 2019年3月期 決算内容
 - 2020年3月期 決算見通し
- ▶ 中期経営計画進捗状況



✓ 「中期経営計画2017」～反転から持続的成長～

＜事業運営の基本方針＞

- － 抜本的な事業収益力の強化
- － 財務基盤の再建
- － グループ経営の強化による顧客起点の統合ソリューションサービスの構築

[中計数値目標 (2022年3月期末)]

営業利益	100億円
有利子負債残高	1,300億円
ネットD/Eレシオ	2.0倍以下
ROE	9.0%超

◆ 配当方針

事業収益の着実な積み上げによる、安定配当への早期復帰



- ✓ 営業利益は過去最高益となり中計目標を過達。その他数値目標も順調に推移。



(金額単位：億円)

	参考 (17/3期)	初年度実績 (18/3期)	2年度実績 (19/3期)	3年度見通し (20/3期)	最終年度計画 (22/3期)
有利子負債残高	1,688	1,576	1,425	1,330	1,300
ネットD/Eレシオ	3.6倍	3.0倍	2.5倍	2.1倍	2.0倍以下
ROE	-	10.8%	11.4%	11.4%	9.0%超



✓ 目指す姿

お客様から信頼されるファーストコールカンパニー

当社グループの強みである、強固な信頼で結ばれた様々な業種における
グローバルかつ有力な顧客基盤を深掘り（横展開）する

筋肉質化

「チャレンジ20」

組織改革

量から質への転換

利益率の重視

グループの連携強化

グループ横断機能の新設

挑戦心と活気あふれる職場

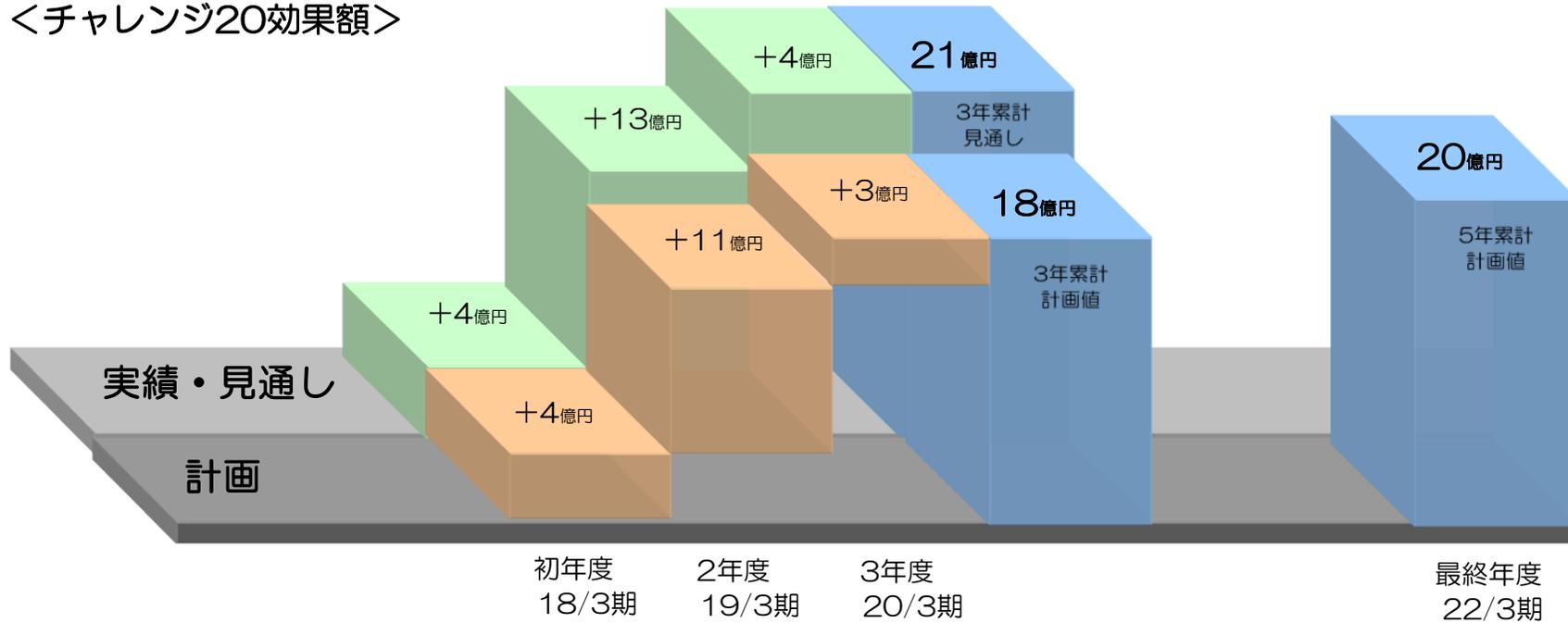
意識改革

人事改革



- ✓ コスト削減策「チャレンジ20」は、20/3期での計画目標達成(5年累計20億円)に目処

<チャレンジ20効果額>



◆ 主な取り組み内容

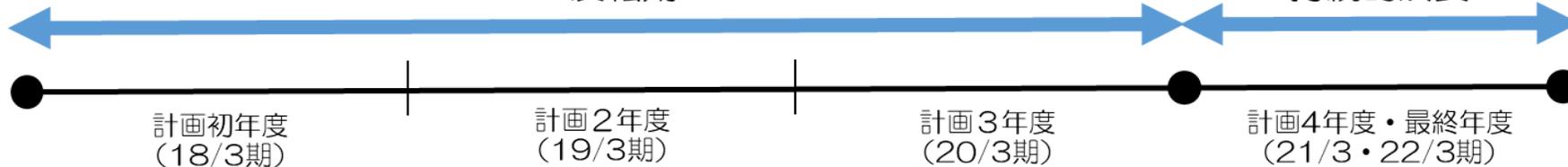
- ・ オフィスを含め各拠点の規模及び配置の見直しを行い、スペース効率を改善
- ・ グループ全体での共同購買を推進し、コスト全般を聖域なく見直し
- ・ 出張費、交際費をはじめとした経費の内容管理を徹底



✓ 持続的成長に向けた反転期において、計画時に掲げた各施策を着実に実行

反転期

持続的成長



「チャレンジ20」 20/3期までに21億円の実行に目処

筋肉質化

「組織改革」

- ・国内と海外の営業機能統合による顧客窓口一本化

量から質への転換

「利益率の重視」

- ・案件別収支管理の徹底による粗利益改善
- ・高付加価値サービスへの転換等

売上高営業利益率が
17/3期2.6%から19/3期5.0%に改善

グループの連携強化

「グループ横断機能の新設」

- ・HDに戦略営業部を新設。「業際」における新規取引の拡大

挑戦心と
活気あふれる職場

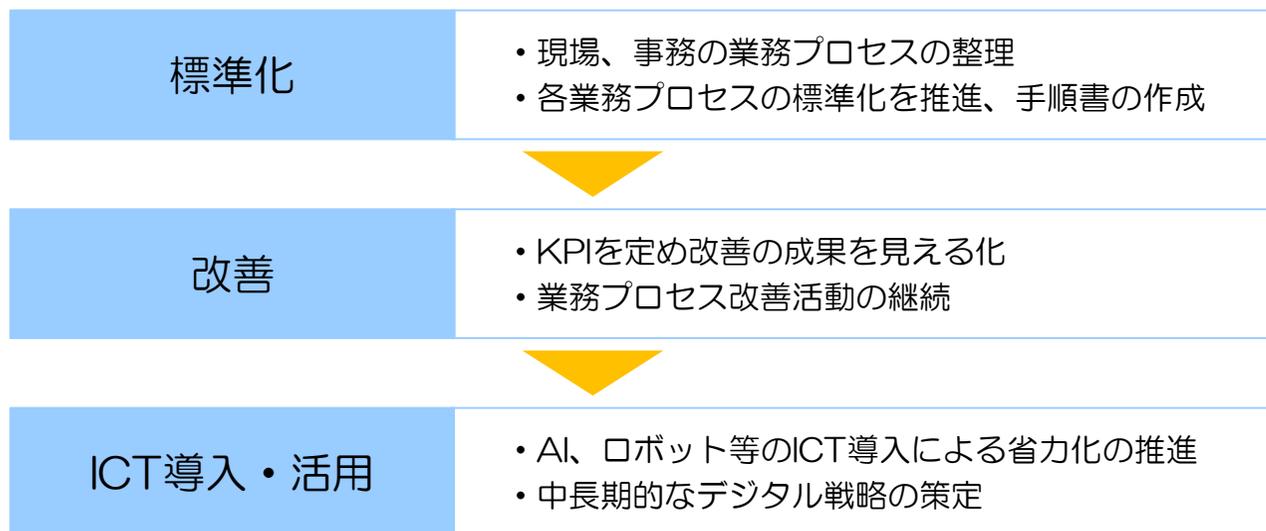
「意識改革・人事改革」

- ・2018/4より管理職層、2019/4より非管理職層において人事制度改革を実施
- ・2019/4より本社オフィスをフリーアドレス化。各拠点においても順次実施予定



- ✓ 「圧倒的な現場力」を強化し、反転期の集大成とする

◆ グループ横断的に一体運営する組織としてオペレーション統括部を新設(2019/4/1)



新設の背景

- 原価上昇、異業種の参入など事業環境は今後ますます厳しくなると認識
- 今後の厳しい環境下で生き残るには、業務プロセスの標準化と品質向上が鍵



✓ 2020年3月期は年間25.00円を予定

- 2020年3月期は今後の持続的成長に向けた反転期の最終年
- 業績は堅調に推移しているものの、財務基盤については改善途上
- 引き続き有利子負債の削減を優先

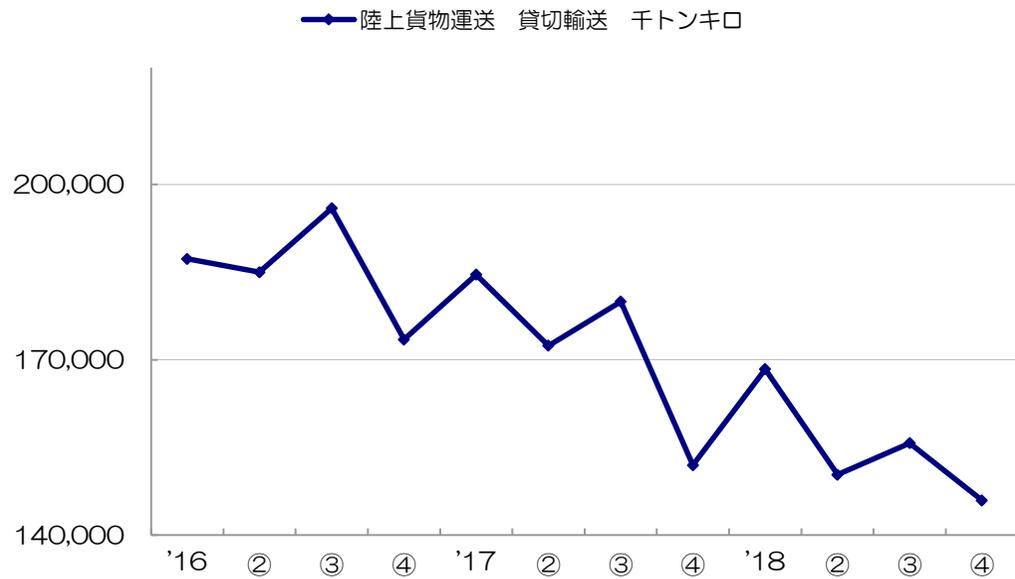
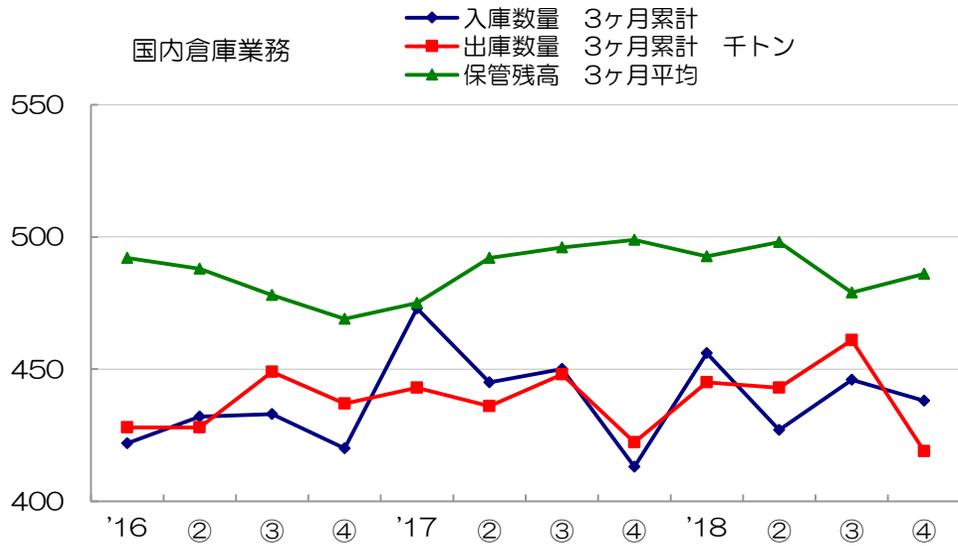
(参考) 配当の推移

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期 (予定)	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当額 (円) ※	25.00	-	-	-	-	12.50	12.50	12.50

※ 2018年10月1日付の株式併合 (5株→1株) を考慮



- 説明資料内容
 - 2019年3月期 決算内容
 - 2020年3月期 決算見通し
 - 中期経営計画進捗状況
- ▶ 参考資料





物流事業地域別売上高

■日本 ■米州 ■欧州 ■東南アジア ■北東アジア

